

HOKUSAI 新聞

2015
S.W号
シルバーウィーク
vol.25

日本初公開

シカゴ ウェストンコレクション

肉筆浮世絵

美の競艶 特別号

小布施・北斎館にて10月13日(火)まで開催中



葛飾北斎
「美人愛猫図」
複製(複製元:O.V.O. Inc. by
画狂人北斎)

北斎先生の壮年期を代表する肉筆美人画のひとつ。瓜実顔に小さな目とおちよほ口、すらりとした体つきと首をぐんと傾けた姿勢は、先生が俵屋宗理を名乗っていた頃に確立した「宗理様式」の典型といえます。全体的に灰色系のおさえた色調に、ちらりとのぞく下着の襦袢や口紅、猫の首輪の赤色が映えます。左手は袖を通さずに、懐手して猫を抱きますが、猫は下に何かを見つけて、今にも飛び出そうとしています。猫をおさえる女性の驚きの表情を北斎は見事にとらえています。

美人愛猫図

びじんあいびょうず

FASHION

美人画は江戸時代のファッション画

帯



展示番号121 月岡雪黒「遊女と玉吹きをする禿」

展示中の絵を見てみよう!

- ▶ 2「立姿美人図」
- ▶ 18「立姿遊女図」
- ▶ 45「立姿遊女図」
- ▶ 64「立姿遊女図」
- ▶ 104「大原女図」

室町時代には、対丈といって「おはしより」のない小袖をおさえる程度に、細帯を前や横で簡単に結んでいました。江戸時代に入ってから、着物の袖丈は長く、身幅が狭くなるごとに帯は幅広になり、結び方は複雑になります。江戸時代中頃から若い人は後ろ結び、既婚者は前結びが一般化します。やがて家事炊事をする女性は後ろ結びが定着しますが、身分の高い女性や遊女などは、前結びのままでした。

髪型



展示番号8 伝 菱川師宣「立姿遊女図」(前期展示)

展示中の絵を見てみよう!

- ▶ 18「立姿遊女図」
- ▶ 43「美人按文図」
- ▶ 53「庵崎二美人図」
- ▶ 62「詠歌遊女図」
- ▶ 123「重陽官女図」

戦国時代まで、一般的に女性は垂髪といって、長い髪を後ろに垂らしていました。江戸時代には結髪が定着します。初期は、襟足に沿った「たぼ(あるいは「つと」)を後ろにふくらませ、後には、頭の左右の「びん」を横に張るようになります。江戸中期頃から、島田髷が未婚女性の定番となり、既婚者は丸髷を結きました。簪、筭、櫛といった髪飾りは、さまざまな種類が出てきました。

化粧



展示番号117 紙園井特「立姿美人図」

展示中の絵を見てみよう!

- ▶ 61「見立三酸図」
- ▶ 79「芸妓図」
- ▶ 109「芸者図」
- ▶ 113「夏の洗い髪美人図」
- ▶ 117「立姿美人図」

江戸のメイクは白、赤、黒の3色が基本。白粉、紅、そして眉墨とお歯黒でした。色白は美人の条件で、水で溶いた白粉を、丸刷毛で首や耳、首から胸元にまで塗ります。紅花から抽出した紅は高価なものでした。なかでも江戸後期に流行した「笹色紅」は下唇に紅を塗り重ねて玉虫色に発色させるため、せいで女性の憧れでした。また、結婚したら歯を黒く染め、子どもを産んだら眉を剃るという風習がありました。それもまた女性の魅力のひとつとされていたのです。

着物



展示番号4 作者不詳「扇舞美人図」(前期展示)

展示中の絵を見てみよう!

- ▶ 5「立姿美人図」
- ▶ 24「立美人図」
- ▶ 56「楼下遊女と禿図」
- ▶ 89「女風俗通画帖」
- ▶ 129「祭芸者図」

着物の原型である小袖は、もともと下着でしたが、室町時代には表着として定着します。次第に袖丈は長く、身幅は狭くなり、染めや刺繍で美しい装飾がほどこされます。やがて引きずるように長くなった着物を、外出の際には「しごき」という紐でたくし上げ、細い帯の間にはさんだりしました。これがおはしよりの原型です。庶民は袴に、武家は華やかに着こなし、そして遊女たちはファッションリーダーとして、江戸の流行を生み出しました。

ACCESS



信州小布施 北斎館



【電車ご利用の場合】JR長野駅南口「善光寺口」から長野電鉄特急20分・普通30分→小布施駅下車徒歩12分
【車ご利用の場合】国道18号線「豊野」信号から約10分上信越自動車道「小布施PAスマートインター」(ETC車専用)から約8分、「須坂長野東インター」から約20分、「信州中野インター」から約15分

北斎館のご案内
【開館時間】午前9時～午後5時30分(11月3日まで) 午前9時～午後5時(11月4日まで)
※ご入館受付は閉館30分前まで
【休館日】会期中無休(但し展示替えのため臨時休館あり)
【入館料】大人1,000円・高校生700円・中学生以下無料
【駐車場】専用駐車場(北斎館に隣接) 大型車2,000円・中型車1,500円・普通車400円
【お記料金はすべてお時間まで、以降超過料金を申し送ります。】
※満車の場合、町営松村駐車場(有料)をご利用ください。